

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月5日	記入者		連絡先	5649
平成18年度部名	保健所	課名	生活衛生課	課長名	飯田 生馬
平成19年度部名	保健所	課名	生活衛生課	課長名	長田 操
事務事業名	衛生害虫等駆除事業				
予算上の事務事業名	衛生害虫等駆除事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第1節 地域保健対策の充実				
施策名	第2施策 快適で安全な生活環境の確保				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	指導・規制・許認可	▼	5 事業開始年度	平成12年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
	感染症の媒介原因となる衛生害虫等の駆除相談等を行う。また、蜂の相談業務、個人住宅等にできたスズメバチの巣の駆除を行い、快適な生活環境の確保に努める。			(2) 対象(誰、何)	
				市民	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメバチ駆除業務委託 192件 委託費 3,326,400円 ・スズメバチ以外の駆除方法の相談・指導 951件 ・殺虫剤(防護服)の貸し出し 130件(防護服兼102件) ・ねずみ駆除用薬剤の配布 46件(97袋) ・ねずみの苦情相談 61件 ・ねずみ以外(昆虫等)の苦情相談 70件 				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	事業内容については、ほぼ同様に実施している。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,587	2,890	3,851	7,611	7,611
一般財源	1,587	2,890	3,851	7,611	7,611
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	13,719	13,685	13,685	13,685	13,685
事業コスト合計	15,306	16,575	17,536	21,296	21,296
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	スズメバチ駆除業務委託			対象名称 と単位	駆除費(円)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	1,449	2,886	3,327	6,873	6,873
対 象 数	138	229	192	385	385
単位あたり経費(円)	10,500	12,603	17,328	17,852	17,852
前 年 度 比		1.20	1.37	1.03	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	スズメバチ駆除率	指標式と指標の説明	駆除件数 ÷ 駆除依頼件数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	138.0	229.0	192.0		
目標	138.0	229.0	192.0	385.0	385.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	スズメバチ駆除率	指標式と指標の説明	駆除件数 ÷ 駆除依頼件数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	138.0	229.0	192.0		
目標	138.0	229.0	192.0	385.0	385.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			スズメバチの生息地の宅地化等により市民の生活圏に大きく影響し、恐怖感や不安感をもつ市民が増えていることから、本事業を維持していく必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
現地調査も含めた委託業務にすることにより駆除依頼に迅速に対応でき、市民のスズメバチに対する恐怖感等を効率的に取り除くことができると思われる。			スズメバチが活発に活動するシーズンになると、巢の駆除を至急実施してほしいとの要望が多数寄せられ、その処理に苦慮することがある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			より効果的な事業の実施を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			